



2021年3月11日 No.12
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

建交労

2021年春闘・月間推進ニュース

3.10-11 全国統一行動

西日本鉄道本部がストライキを決起

3月11日西日本鉄道本部はストライキで決起しました。朝の京橋駅前では宣伝行動には15名が参加し、用意したビラはすべて配付、医療関係者を激励するプレートを出し支援を訴えました。その後、JR西日本本社前へ移動、10時からストライキの決起集会を行い36名が参加しました。西日本鉄道本部・奥田委員長が挨拶し「JR西日本は1兆3188億円の内部留保をため込んでいる。莫大な利益は賃金にも設備投資にも回らず、株主配当と内部留保に回っている。内部留保の1.7%を労働者に還元するだけで2万5000円の賃上げが実現できる。経済の循環のためにも34000円の賃上げを勝ち取ろう」と述べました。JRとの交渉経過を佐藤副委員長が報告。ため込んだ内部留保を今こそ活用し、社員の雇用、生活を守るよう訴えとともにストライキで闘う決意を表明しました。支援の大阪労連菅議長、大阪府本部前村委員長、近畿地協川口議長から連帯の挨拶をいただきました。集会終了後、組合員は各地域の行動に合流、終日行動を展開しました



札幌総行動で市民に春闘アピール 北海道本部

北海道本部の各支部は、3月11日（木）に実施された札幌総行動に参加しました。朝は10カ所のターミナル宣伝行動、昼は札幌駅南口での昼休み宣伝行動に合流し、終了後は原発追悼集会に参加し、夕方にはいのちと暮らしを守る総決起集会が開かれ、職場闘争の交流会もおこなわれました。各行動時に建交労押し出しのテッシュチラシを配布しました。

